

親子聖書日課

[日]主の御業を成し遂げるのは、人間の能力でも権力でもなく、「ただわが霊によって」です。「私はそんな事はできない」という時、自分の能力に頼るからできないのであって、主の霊に頼ると、不思議とできるのです。聖霊の力に頼りましょう。

[月]ゼカリヤの時代、空飛ぶ巻物が登場し、全ての人が神の言葉を見ることができました。今日の空飛ぶ巻物は、インターネットでしょう。世界中に、上尾教会から福音を発信できます。福音はしまっておくものではなく、高々と掲げるものです。

[火]主が神殿を見て「この神殿を壊したら、私は三日で建て直す」と言われたのは、十字架で死に、三日目に復活した主の体のことです。教会は、主の体、私達はその一部分です。信仰を建て直すために、「ひたすら主の声に聞き従う」ことです。

[水]民が70年間、主に喜ばれると思って断食したのは、自己満足のためでした。主に喜ばれるのは、熱心に宗教行事を守ることではなく、「正義と真理」である御言葉に従い、互いに労わり合い、災いを心にたくらまないこと、形式よりも中身です。

[木]国を建て直すのに必要なのは、「真実と正義に基づき、平和をもたらす裁き」を行うことです。今も、権力者によって真実が歪められ、不正が行われ、国民が苦しめられています。私達は、主にあって「真実と平和を愛」する者として、行動しよう!



[金]主イエスのエルサレム入場の預言です。主は王のように馬ではなく、ロバ、それもロバの子に乗りました。それは柔和でへりくだった、平和の王の印です。主は今日もロバの子を求めています。自らを「ちいロバ」として、差し出しましょう。

[土]うっとうしい雨も、雨の少ないユダヤでは、収穫に大きな影響をもたらす恵みの雨です。宣教の働きも同じで、聖霊の雨が注がれてこそ、魂は救われます。「主よ、聖霊に雨を降り注いで下さい」と祈るなら、救われる人が起こされるでしょう。

NO.1931 2025.9/28-10/4

名前

	聖書	問題	答え
日	ゼカリヤ 4:1-14	武力によらず、権力によらず、ただ何によって、と主は言われましたか。	
月	5:1-11	巻物がどうしているのが見えましたか。	
火	6:1-15	彼は主の神殿をどうしましたか。	
水	7:1-14	互いに何を心にたくらんではなりませんか。	
木	8:1-23	何をもたらす裁きをすべきですか。	
金	9:1-17	彼は高ぶることなく、何に乗ってきますか。	
土	10:1-12	春の雨の季節には、主に何を求めるべきですか。	
感想と祈りの課題			